

2025年度 東京中華學校 家長大会

開催日時

2025年10月25日(土) 10時30分 開会

開催場所

本校 4階会議室

出席者

学校より 呉校長、伊藤副校長、陳主任、蔡主任

家長会より 林会長、真鍋副会長、張副会長、古富副会長、蔡副会長、家長45名

一、家長会会長挨拶

開会の挨拶

二、家長会通知事項及び質疑応答

家長会収支中間報告(会計担当より)

本年4月1日～8月31日の中間収支報告。(別添収支中間報告書をご参照ください)

今後の支出予定についての説明(別添収支中間報告書をご参照ください)

三、校長先生挨拶及び学校通知事項

ご多忙の中、会議にご参加いただきありがとうございます。また、会議の準備をしてくださった保護者会の皆さまにも感謝申し上げます。

新しい学校のウェブサイトについては、当初10月の公開を予定しておりましたが、高校生が学校紹介動画の撮影に参加したいとの希望がありましたため、もうしばらく時間をいただくことになりました。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

四、學校通知事項及び質疑応答

家長1

- 家長の意見・要望:監視カメラに関する質問
- 校長先生の回答:

今回の監視カメラ設置は、既存の保全設備を担当しているセコム社に依頼して行う。

教室内にはカメラを設置しない。理由は、授業中の生徒や教師の様子が撮影されることを避けるため。

主に設置するのは、長い廊下と階段。廊下は前後2か所にカメラを配置し、顔がはっきり映るわけではなく、事故や衝突などの状況を把握し、安全対応の判断に活用することが目的である。

階段についても、過去に生徒同士の事故(転倒や衝突)に関するトラブルがあったため、安全確認のため設置する。

カメラ映像のデータはすべて事務局で管理し、教師が常時監視することはない。教師は授業中や休み時間中に監視する時間を確保できない。

必要に応じて、データは保全会社を通じて調査閲覧できる。

家長2

- 家長の意見・要望:

1.保健室の先生の不在について

- 9月後半に保健室の先生がたびたび不在に見えたが、これは偶然か。

2.怪我の対応について

- 9月22日、体育館で娘が友達とぶつかり両膝に軽いあざや赤みが出た。傷はなし。

- 保健室の先生が不在のため副校長が対応したが、消毒のみで冷却はなし。
- 副校長先生は以前紹介会の際に保健の知識と資格があるとおっしゃってたが、なぜ冷却処置を行わなかったのでしょうか。

3.副校長就任時の挨拶について

- 副校長就任直後の運動会において就任挨拶がなかったことが多くの保護者が疑問に感じている。
- 今でも保護者の間では誰が副校長か分かりにくい状況との声がある。
- 副校長先生には、小学生との交流の機会をもう少し増やしていただければと思います。
- 現在のところ、副校長先生から積極的に声をかけてくださる場面があまり多くないように感じます。

4.進路相談について

- 小学校の段階から将来の進路に関する相談は可能か。
- 台湾進学や日本国内、その他の海外進学の割合や情報も知りたい。

● 校長先生の回答

1. 保健室の先生の不在について

- 毎日常勤している。
- 昼休みとして1時間程度の休憩時間があり、その間は副校長が対応。

2. 運動会の挨拶について

- 当日の挨拶がなかったのは校長側の手落ちによるもの。
- 今後、保護者会などの機会に一言挨拶できるように調整。

3. 進路相談について

- 大学進学に関する相談は、原則として高校1年生から初期調査を行います。
- 夏休みや学期中に希望者には1対1の面談も実施。
- 日本進学・台湾進学ともに高2から詳細面談、必要に応じて情報提供。
- 高3で最終決定。

副校長先生回答

1. 怪我の対応について

- 娘さんが保健室に来た際、ちょうど保健室の先生が戻ってきたためバトンタッチ、その後の処置(冷却など)は保健室の先生の判断で行われたため不明。

2. 挨拶・交流について

- 運動会当日挨拶できなかったのは事前に校長から遠慮するよう指示があったため。
- 個人的には挨拶が不足していたことを認識しており、今後はリクエストがあれば積極的に挨拶する意向。
- 実際のところ、進学指導しているため、高等部との関わりが中心となりますが、今後はできるだけ小中学生とも多く交流し、関わりを深めていきたいと考えています。

家長3

1. 保健室利用の記録について

- 家長の要望:
 - 保健室の利用状況を簡単に記録してほしい

例：日時、学年、症状、対応（病院搬送の有無）

- 将来、感染症流行時に保護者が安心できる履歴として残す
- 簡単に一行程度でよい、月1回程度のまとめで十分
- 校長先生の回答：
 - 実際には毎日、保健師や代替教師が記録を作成している
 - 個人情報のため公表はしていないが、保護者は安心してよい

2. 高校・大学進路に関する情報と早期相談

- 家長の要望：
 - 卒業生の進学先や割合（日本、台湾、海外など）を知りたい
 - 高校入学前から文系・理系選択や塾の準備などを相談できる体制がほしい
 - 大学進学に関する説明や個別相談を早め実施してほしい
 - 台湾大学の進学説明会は非常に有益で、毎年継続してほしい
- 校長先生の回答：
 - 学校には毎年、大学進学説明会を実施（高校生・中学3年生対象）
 - 進学方法（推薦・一般入試・特別入試など）は多様で、個別の相談が必要
 - 日本・台湾・海外進学の手帳は存在するが、家長向けには公表していなかった
 - 今年度以降、卒業生の進学先や国籍別の統計を整理して公開することを検討
 - 高校1年生の文理選択については担任教師が面談を実施、必要に応じて補習や塾の相談も可能
 - 高校生本人が将来の進学先を自分で考え、実際にオープンキャンパスや

説明会に参加することを推奨

- 台湾の大学や海外大学の短期プログラムなども積極的に検討・情報も提供中

3. 音楽・授業内容について

- 家長の要望：
 - 音楽の授業内容が単調で物足りない
 - 音楽・体育・理科・料理など授業のバランスを改善してほしい
- 校長先生の回答：
 - 音楽授業の運営については改善を検討中
 - 授業中の秩序維持や適切な指導を行うため、他教師の協力や授業見守りを実施
 - 良い講師の確保が課題だが、今後も改善策を模索

4. 国籍別進学情報の可視化

- 会長・家長の要望：
 - 卒業生の進学先を国籍別(台湾、日本、中国など)で整理してほしい
 - 進学方法(推薦・一般・特別入試)の割合も含めて知りたい
- 校長先生の回答：
 - 進学先や方法に関するデータはすべて記録済み
 - 国籍別・進学方法別に整理して、家長が理解しやすい形で公表可能
 - 小学生の保護者も安心できるよう情報提供を実施する予定

家長4

- 家長の提案・意見

1. 体育館の環境

- 体育館が非常に暑く、過去に國慶節園遊会抽選会やスピーチコンテストでも不快だった。
- 空調・通気の改善が必要。もし費用が高額になる場合は、募金の実施も検討していただければと思います。

2. 音響・スピーチコンテスト

- スピーチコンテストで音響の調子が悪く、後方の席では学生の声が聞こえなかった。
- 近くで撮影しても、周囲の学生の騒ぎ声が入り、内容が把握できない。
- 今後は音響調整や学生の秩序保持をお願いしたい。

3. 國慶節園遊会

- 長時間会場で抽選を待つのは非常に疲れる。
- 休憩場所や座席が少なく、体力的に大変。
- 抽選の進行が計画通りでなく、途中で見逃すこともあった。
- 横浜中華学院のように、教職員、学生や地域参加型で秩序ある運営を希望。
- 必要であれば家長がボランティアとして協力したい。

- 校長先生の回答

1. 体育館の暑さ・空調

- 体育館が暑い問題は以前から課題。最近は大形扇風機を設置したが音が

大きく、スピーチコンテストには不向き。

- 体育館は老朽化しており、電力設備が冷房に対応できない。暖房のみ。
- 電力設備改善の予算は理事会で承認済みで、春休みに施工予定。
- 電力改善後に冷房設置の検討が可能。寄付も歓迎。
- その他、バスケットゴールや校庭の老朽化にも対応中。

2. 音響・スピーチコンテスト

- 音響接続や周囲の干渉を確認・調整する。
- 今後のスピーチコンテストでは、中高生にも静かにするよう指導予定。

3. 国慶節園遊会

- 学校は会場提供のみで主催ではない。
- 抽選時間が長いのは、観客を集めるための意図がある。
- 来年の開催に向けて華僑総会に改善意見を伝える予定。
- 5月の園遊会は保護者参加型で、より秩序ある運営が可能。

家長5

● 家長の質問・意見

1. 小1の中間・期末試験の短時間登校について

- 小1は試験科目が少ないため、試験日は2時間程度で下校してしまう。
- 親は共働きで、遠方から通学させる必要があり、午前中だけの登校は会社への対応が難しい。
- 可能であれば、午前中だけでなく昼まで、もしくは終日授業にしてほしい。
- 初日は登校せずに自宅で復習だけさせることは可能か。

- 校長先生・蔡主任の回答

1. 試験科目と日程の理由

- 小1～小4は試験科目が少ないため、試験は2日間のみ実施。
- 小5以上は科目数が多く、試験は3日間。
- 監督教師の配置や他学年との調整上、全学年の試験日を同じ時間帯に統一することは困難。
- 小1～小4の中間試験では初日は授業を行い、期末では初日に試験、最終日を放課とする予定。

2. 授業と試験の兼ね合い

- 同じ校舎内で授業と試験が重なると、試験の集中に影響が出るため、現在の時間割で対応。
- 必要に応じて「安親班」を利用すると、午後2時頃まで預かってもらえる。

3. 登校日数の考慮

- 各学年の年間登校日数は法律・学校規定で定められており、試験で2時間だけの登校でも1日としてカウント。
- もし中間・期末試験で登校しないと、年間登校日数が不足してしまうため、短時間でも登校は必要。

家長6

- 家長の質問・意見

1. 小6の日本語教師の頻繁な交代について

- 小6は既に3人目の教師に交代しており、授業内容や進度が安定しない。
- 教師が変わるたびに子どもたちは授業内容の理解や適応に苦勞している。

- 授業方法も教師ごとに異なるため、学習の連続性が失われている。
 - 経験豊富な教師(例:澤田先生)が若手教師を指導・統括する制度を作り、教師が退職しても学習環境や授業の質が保たれるようにしてほしい。
- 校長先生の回答
1. 教師確保の困難さ
 - 小学校の日本語教師は全員専任が多く、非常勤で小学生を教えられる教師は非常に少ない。
 - 最初の田中先生は一週間程度で家庭の事情により休暇となり、その後臨時で派遣会社から八木先生が担当。
 - 現在の今西先生は、派遣会社との調整で授業可能時間が限られており、他のクラスや補習も担当している。
 2. 今後の対応
 - 教師の突然の退職や休暇に備え、経験豊富な教師が若手教師を指導する制度や体制を整えることが望ましい。
 - 学校側も来年度に向けて、できるだけ長期間安定して勤務できる教師を早めに確保するよう準備中。
 - すでに新年度の教師配置や指導体制について検討を開始しており、授業の質を維持する努力を行っている。
 3. 指導体制の補足
 - 新しい教師が授業に入る前に、学校側は授業内容や補助教材などを事前に詳細に伝えている。
 - 実際の授業中に経験豊富な教師が直接フォローできる体制があると、より効果的である。

- 家長の意見・提案

1. 教師の代理制度について

- 一般の職場では「職務代理人」という制度があり、教師が病気や家庭の事情で休む場合、代理の担当者が授業を代行する。
- 現在、授業が休講になることがあり、子どもの学習に影響している。
- そのため、他の教科の教師でも、代理制度を導入して休講を防ぐことを希望。

2. 学校施設(体育館)の募金について

- 過去に古いトイレ改修で、総額120万円の費用を家長や関係者からの募金で負担した例がある。
- 体育館の改善や冷暖房設置などの費用についても、総額を公開し、家長や関係団体(ロータリークラブ、華僑団体など)で寄付を募る方式を提案。
- 少額でも多くの方が協力することで実現可能。

家長8

- 家長の意見・要望

1. 小3の日文授業について

- 授業中、教室が非常に騒がしく、集中できない生徒がいる。
- 小学部では中国語が中心だが、日文も重要な科目である。
- 漢字は授業で教えず、宿題として家でやらせているが、漢字学習を授業内でも強化してほしい。日本で成長する子どもにとって、漢字力は必要。

2. 体育の授業について

- 内容が単調でつまらない。

- 子どもは体育を楽しみにしているので、ゲーム性や楽しめる活動を増やしてほしい。

3. 音楽の授業について

- 後方の席では教師の声が聞こえず、授業内容がわからないことがある。
- 授業中の騒がしさも改善してほしい。

● 校長先生の回答

1. 日文授業の騒がしさへの対応

- 小3の日文授業が騒がしい問題は以前から指摘されていた。
- 教師に声の大きさや生徒の秩序管理を指導しているが、改善が不十分なこともあった。
- 現在、補助教師(代替教師)を教室に配置し、秩序を整える取り組みを行っている。
- 騒がしい生徒は班長が教室外に誘導し、陳主任が対応する体制を整えている。
- 今後も改善状況に問題があれば、家長から直接連絡してほしい。

2. その他(漢字教育や授業内容の強化)

- 校長の回答では、日文授業内での漢字指導の強化については明確な対応策の言及はないが、授業改善の必要性を認識している。

家長9

● 家長の意見・要望

1. 小1の担任変更について

- 先生(謝老師)が家庭の事情で突然台湾に帰り、事前に通知もなく、子どもが心理的に準備できなかった。
- 子どもは以前の先生の授業に慣れ、興味を持っていたため、新しい先生に変わることでの学習への影響を懸念。
- 基礎学習(生活中文、国語、数学)が重要なので、早く元の先生に戻ってほしい。

2. 安親班の作業チェックについて

- 安親班の先生が宿題のチェックを十分に行っておらず、保護者が家で再度確認する必要がある。
- チェック不足により、宿題の確認に1~2時間かかることがある。
- 宿題チェックをより丁寧に行ってほしい。

3. 安親班の間食について

- 現在の間食は健康的でない(クッキー、キャンディ、ゼリーなど)。
- 食物アレルギーへの配慮も含め、パンやおにぎりなど、より健康的な軽食に改善してほしい。

● 校長先生・蔡主任の回答

1. 担任変更の経緯と対応

- 謝老師は家庭の緊急事情(家族の病気)で突然台湾に帰る必要があった。
- 学校としても事態を理解し、やむを得ず休暇を認めた。
- 中間試験後は副担任により通常の授業が再開され、子ども達の学習環境は安定する見込み。

2. 安親班の宿題チェック

- 安親班は主に生徒の安全確保が目的で、教師が全ての宿題の誤字などを正確にチェックする体制ではない。
- ただし、学校として教師に注意喚起し、宿題の誤字や内容確認をより丁寧に行うよう指導済みで、今後も継続的に確認・改善していく。

3. 安親班の間食

- 色素や糖分の多いお菓子は提供していない。
- 保護者の希望をお伝えして、パンやおにぎりなど、より健康的な軽食への変更も検討。

家長10

- 家長の意見・要望
 - 小4の日文授業について：
 - 現状、授業中の秩序は補助の先生がいることで改善されているが、本質的な解決にはなっていない。
 - 授業内容が退屈で、ただノートを写すだけの形式のため、子どもたちが内容を理解・吸収できていない。
 - 英語や理科の授業は活発に発言しているのに対し、日文授業は参加意欲が低い。
 - 授業内容をより面白く、子どもたちが積極的に参加できる形に改善してほしい。
- 校長先生の回答
 - 授業への参加意欲を高めるため、日文教師と改めて話し合いを行う。
 - 現状、ノートを写すだけで説明が少なく、子どもたちが理解できているか不明確であ

ることを認識。

- 秩序は多少改善されているが、授業内容の面白さ・参加意欲の向上が必要。
- 教師を指導し、授業方法の改善を進めていく予定。

家長11

- 家長の意見・要望
 - 授業中の秩序問題について議論されているが、教育の本質に立ち返るべき。
 - 学校だけで教育するのではなく、家庭でも子どもの学校での状況を把握し、学習や態度の管理をする必要がある。
 - 授業中の行動や発言について、家庭での指導も重要であると考えている。
 - 教育の本質を大切にするために、家と学校で協力して子どもを見守ることを望む。
- 校長先生の回答
 - 学校での行動はあくまで一部分の表れであり、家庭での指導も重要である。
 - 学校でも教師が礼儀や静かにすることを継続して指導しているが、家庭でも保護者の協力をお願いしたい。
 - 一部の子どもの行動が他の生徒に影響を与えるため、学校と家庭が一体となって取り組むことが大切。
 - 学校外での態度や知識の習得も含め、保護者と学校で共に努力していく必要がある。

家長12

- 家長の意見・要望

- 1.挨拶について

廊下ですれ違った際に、校長先生以外の関係者で挨拶がない方がいる。学校教育としての指導が十分か疑問である。挨拶は人としての基本であり、教育上重要であると考える。

- 2.監視カメラ設置について

現在、小門に監視カメラが設置されているが、セキュリティの観点から正門、両玄関、体育館にも設置すべきではないか。

- 3.校庭でのバドミントン禁止について

校庭でバドミントンが禁止とされている理由について、危険性を理由とするのであれば、かくれんぼ、バスケットやサッカーも同様の危険性があるはずで、生徒のスポーツ活動の機会を制限してしまうのは不公平ではないか。

- 校長先生・陳主任の回答

- 1.挨拶指導について

挨拶は重要な教育の一環であり、今後は朝礼時や授業開始前など、先生から生徒への挨拶指導を強化する。また、生徒同士の挨拶についても教育を徹底する予定。

- 2.監視カメラ設置について

体育館への監視カメラ設置は、工事のスケジュール上、次期工事(11月頃予定)にて対応予定。その他のエリアについても、今後検討を進める。

- 3.バドミントン禁止の理由と対応方針

現状、休み時間は10分間で校庭を中高生と小学生の使用エリアに分けており、十分に区分できていない場合がある。

バドミントンは禁止されている理由は、ラケットを振るときや飛球によって、通行中の小学生が偶発的にけがをする恐れがあるため。

昼休みの体育館は小学校低学年専用となっており、中高生の使用は制限されている。

今後は、水曜日限定で中高生が体育館でバドミントンを行えるよう、使用時間の調整・運用方法を検討中。

家長からコメント

本質的には、道具を使用する際の安全ルールを教えた上で活動させることが重要であり、ただ禁止するのではなく、安全教育の観点も含めてルールを整備したほうがいいではないか。

学校側補足コメント

- 小学生から高校生まで同じ校庭や体育館を使用するため、安全と活動機会の両立を工夫する必要がある。
- 保護者や教職員が知恵を出し合い、活動空間の工夫や時間割調整を行うことが、生徒の安全と楽しみを両立させる最良の方法である。

家長13

- 家長の意見・要望

1. 遠足の日程通知が遅いことへの不満

- 遠足の正式日程が10月になって初めて家族に通知された。
- 日程が早くわかれば、補習や家庭の予定を調整できる。
- 過去の経験から、大規模な遠足の場合、前の週や直前に日程を決定することはあり得ない。
- 今後は、目的地が確定していなくても、まず日程だけでも早めに家長に通知してほしい。

2. 遠足の内容や食事に関する不満

- 行き先は良い場所だが、子どもたちは移動時間が長く、実際に社会見学する時間や遊ぶ時間が短い、いった場所も少ない。

- 昼食は20分しかなく、メニューはカレー一皿のみで量は十分でなかった。せっかくの社会見学でもう少し食育も重視したほうがいいと思います。
- 子どもたちの満足度や体力への影響を考慮してほしい。
- 次回は生徒の意見も参考に、より充実した学習・体験内容にしてほしい。

3. 情報共有の方法改善

- 現行の通知はアプリ(ミマモルメ)に依存しているが、高等部では利用していない保護者もいる。
- 日程や重要なお知らせはメールで直接通知する方が確実。
- 家長が登録していれば、見落としが少なくなる。
- 校務に関する活動の連絡は、担任の先生やPTA、または子どもを通じての伝達に頼るのではなく、学校からの一斉通知を主とする形にしてほしいと思います。

4. 兼任教師の遅刻・早退の可能性

- 一部の兼任教師が遅刻・早退しているという話があり、子どもの学習機会に影響がないか心配。

● 校長先生の回答

1. 遠足の日程について

- 実際には日程は早く確定しており、正式通知が遅れたのみ。
- 教師たちは早めに知っており、生徒にも伝えているはずだが、最後の通知は遅くなった。
- 来年度以降は、まず日程だけでも早めに家長に通知することを検討する。

2. 遠足の内容や昼食について

- 行き先は複数案の中から教師たちで投票して決定。
- 移動時間が長くなる場合、活動時間を確保できるよう改善の余地あり。
- 昼食については、予算や全員の対応を考慮しての選択であり、食事の量を増やす場合は、全員同じ対応となり、別途料金も発生します。校長は、その分量で十分だと思いました。
- 次回は旅行代理店や予算を含めて、より充実した体験を検討する。

3. 情報共有の改善策

- 現行のアプリの使用を今後さらに登録の呼びかけや周知を強化していきます。
- 重要なお知らせは、メールで直接保護者に送る方法を検討する。
- アプリだけに依存せず、メールで通知すれば見落としを減らせる。

4. 兼任教師の遅刻・早退について

- 実際に一部の教師に遅刻・早退のケースがあったため、調整し対応済み。
- 今後も授業に支障が出ないように、時間調整や監督体制を徹底する。

● 会長の提案

1. ディズニーランド・ディズニーシーへの復帰提案

- 5年ほど前までは、当時の校長の許可で遠足先としてディズニーランドやディズニーシーが可能だった。
- 前校長時代は「社会科見学中心」という理由で禁止になった。
- ディズニーランドやディズニーシーを再び遠足先として検討できないか。

2. 個人的見解・期待

- 子どもたちにとって楽しく、有意義な経験になると考えている。
- 保護者同士の交流や子ども同士の協力・チームワークの学びの場にもなる。
- 小学校低学年はまだ自分で行程を組めないが、高学年からは自主的な計画や協力の経験になる。

- 校長先生の回答

- 1. 費用の考慮

- 現在の遠足費用は高めだが、ディズニーの場合も1万円前後で収まる見込み。
- 過去の中高生遠足は4～5千円だったが、今の価格でも許容範囲内。
- 音楽劇などの代替案は費用や時間の制約があり、現実的ではない。

- 2. 今後の進め方

- もし保護者や学校側が費用面や希望面で納得できるなら、ディズニーへの復帰を検討してよい。
- 保護者間で意見交換をして、希望の多い方向で調整する。

家長14

- 家長の意見・要望

- 1. 年間スケジュールの確認

- 保護者として、年間スケジュール表(遠足や休校日など)がほしい。
- 校長や教師は常に確認しているが、保護者は時々しか見ない。
- スケジュール表には、遠足日・休校日(例:10月8日、10日など)や試験日な

どを明確に表示してほしい。

2. お弁当手配の問題

- 10月8日は学校から通知され、弁当会社の予約不可日になっていた。
- 10月10日は予約可能だった。事務局がスケジュールの更新を行っておらず、一部保護者が誤って予約してしまった。
- 今後は、休校日や試験日、半日授業の日などをスケジュール表に記号で表示し、保護者が容易に確認できるようにしてほしい。

● 校長先生の回答

1. 半日・全日授業の確認

- 活動日の授業が半日か全日かをスケジュールに明記する。
- 小学1年生など新規の保護者が、活動日のお弁当の要・不要を理解しやすくするため。

2. 弁当会社への通知

- スケジュール表の情報を弁当会社にも共有することで、誤注文を防止。
- 過去に事務局のミスで誤配があったため、来年度は正確に反映させる。

3. 保護者からの情報提供

- 保護者が各クラスの状況を把握している場合、早めに学校へ情報を伝えると迅速に対応が可能。
- 現場でしかわからない細かい情報も、随時報告できるように促す。

五、閉会

以上